

オープンキャンパス

文京キャンパス

7/20(日) 8/17(日) 9/14(日) 11/23(日)

新座キャンパス

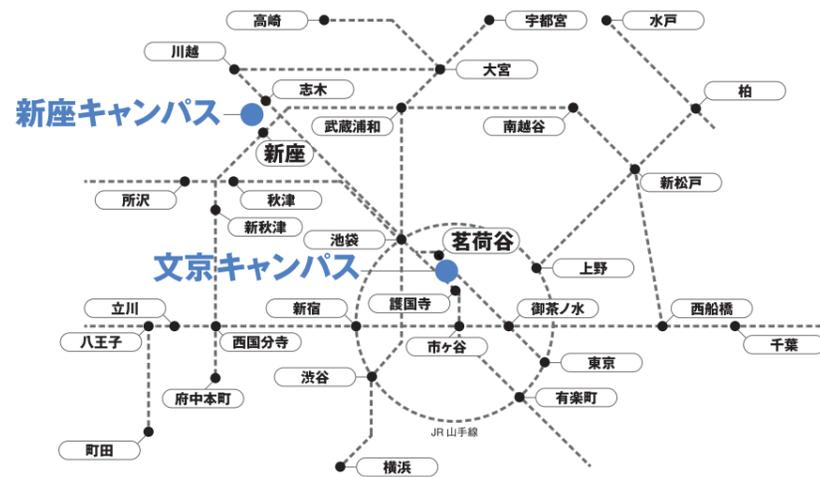
7/13(日) 10/25(土) 10/26(日) ※

※祭典(大学祭)
同時開催

*開催時間、来場事前登録は大学公式サイトからご確認ください。 *事前登録推奨 入退場自由

オープンキャンパスでは、大学院担当教員による個別相談が受けられます。(10/25、10/26を除く)
また、オープンキャンパス以外の日でも教員による個別相談が受けられますので、希望される方は事前に入試課まで電話またはE-mailでご予約ください。

アクセスマップ



人文科学研究科 臨床心理学専攻・日本文化専攻

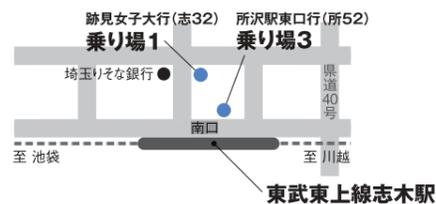
新座キャンパス

〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6
JR武蔵野線「新座駅」北口より 大学バス約7分
東武東上線(東京メトロ有楽町線/副都心線乗入)
「志木駅」南口より 西武バス約15分「跡見女子大」下車
西武線「所沢駅」東口より 西武バス約25分「跡見女子大」下車

新座駅のバス停から



志木駅のバス停から



入学試験要項・大学で発行している資料

- 入学試験要項 8月上旬より大学公式サイトで公開
- 過去問題集 随時無料配布

【臨床心理学専攻】大学公式サイトよりご請求ください。
【日本文化専攻・マネジメント専攻】入試課にお問い合わせください。

資料送付をご希望の方は、大学公式サイト
の資料請求フォームからご請求ください。
また、電話やE-mailからでも申し込むことができます。
※発送は国内のみとさせていただきます。

マネジメント研究科 マネジメント専攻

文京キャンパス

〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-2
東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」(出口2)より 徒歩約2分
東京メトロ有楽町線「護国寺駅」(出口5,6)より 徒歩約8分



 跡見学園女子大学

TEL : 048-478-3338 (入試課)

E-mail : d-nyushi@mmc.atomi.ac.jp

https://www.atomi.ac.jp/univ/

跡見学園女子大学 大学院案内

2026

Atomi University Graduate School

 跡見学園女子大学

contents

伝統が生きる跡見学園女子大学	03
学長からのメッセージ	03
院生・修了生インタビュー	04
人文科学研究科 臨床心理学専攻	06
人文科学研究科 日本文化専攻	10
マネジメント研究科 マネジメント専攻	14
募集要項・学費・奨学金	19



伝統が生きる 跡見学園女子大学

大学院設置の沿革および概要

跡見花蹊は明治8(1875)年に宗教系ではない初の女子私学、跡見学校を創立した女子教育のパイオニアです。跡見学園女子大学は、学祖・跡見花蹊による「国民的伝統に基づく女性としての教養の育成」、「時代の急速な進展に応ずる知識・技能の修得」という一貫した教育理念に基づき、昭和40(1965)年に開学。以来、女子高等教育の実績を重ねてきました。その伝統と実績を基礎として、平成17(2005)年に大学院人文科学研究科修士課程(臨床心理学専攻、日本文化専攻)、翌18(2006)年に大学院マネジメント

研究科修士課程(マネジメント専攻)を設置しました。両研究科は、学術の理論および応用を教授・研究し、深奥をきわめることによって、高度の専門性が求められる職業を担う能力を培い、もって文化の進展に寄与することを目的として設置したものです。なお、本学は従来、女子のみを学生とする教育研究機関でしたが、より高度な学術研究を行う大学院においては、男子にも「開かれた大学院」とすることが望ましいと考え、男女共学としています。

学祖跡見花蹊

女子教育家である一方、著名な日本画家、そして書家でもあった跡見花蹊。大正時代には昭憲皇太后からたびたび召され、絵や書を披露する揮毫を行うほか、御所で女官教育などを行っていました。跡見学校を開校して2年後に描いた「四季花卉図」は、季節の花々を華麗に表現し、右の一角には跡見を象徴する桜花が生き生きと描かれています。巧みな配置は10代の頃に学んだ円山派の技法が生かされたものです。この絵は新座キャンパスの「花蹊記念資料館」に収蔵されており、大学公式サイトからリンクしたサイトで画像を見ることができます。花蹊は社会生活にすぐに役立つ学問だけではなく、芸術を重視して人間性を豊かにする教養教育を目指していました。



花蹊の代表作

明治10(1877)年に描かれた「四季花卉図」。
花蹊の代表作のひとつ。



メディアに登場 雑誌『女学世界』

明治34(1901)年に創刊された女性向けの総合教養雑誌『女学世界』に、花蹊は毎号のように登場していました。手習いのための絵や書の手本を示した花蹊の連載は、女子学生を中心とした読者に非常に喜ばれました。

女性の時代と大学院進学

大学院進学は、特定の学問分野で専門家としてキャリア形成していくための第一歩となります。本学には人文科学研究科、マネジメント研究科があります。人文科学研究科臨床心理学専攻に学ぶ院生たちは、公認心理師の資格取得を目指しています。時代に即応した高度な専門的知識を修得することがキャリアデザインに直結しています。

大学院は、それとは対極的な役割も担っています。職業や実利とは直結しない、純粋な知的欲求に応えてくれるのも大学院です。それぞれ目的は異なるかもしれませんが、大学院での研究活動の根底にあるのは知の高みを目指すことです。AIの急速な普及によって、人間の思考のあり方そのものが変化を求められている現在、ともすると変化のスピードに惑わされることがあります。そうした時代だからこそ、状況を俯瞰しながら、不変の真実を探求することに意味があるのではないのでしょうか。

日本は諸外国に比べ、女性の大学院進学率が低いと指摘されています。様々な分野で女性の活躍が期待されている今、大学院での自己研鑽によって時代を生き抜く知見を修得されることを期待しています。



学長 小仲 信孝

学長からのメッセージ

院生・修了生インタビュー

人文科学研究科 臨床心理学専攻



人文科学研究科 臨床心理学専攻
専修大学 人間科学部
心理学科 卒業



人文科学研究科 臨床心理学専攻
跡見学園女子大学 心理学部
臨床心理学科 卒業

細やかで手厚い学習環境の中で
知識と面接技能を磨き
将来は故郷の教育現場に貢献したい。

学部で心理学を学んで興味を持ったのが、人と環境の関係性に介入するコミュニティ心理学です。同分野について大学院で知識を深めたいと考えた時、周囲から勧められたのが跡見の臨床心理学専攻でした。現在は板東充彦教授のもと、高等学校の「校内居場所カフェ」を対象として、職員へのインタビューを軸とした研究を進めています。修士1年次の後期からは、並行して大学院附属心理教

育相談所でのケースを担当しています。毎セッションの前後に1対1の臨床指導があり、とても細やかで贅沢な学習環境です。院生研究室など個人用のスペースが充実していることも、安心して学べる環境につながっています。修了後は現場で経験を積んだ後、いつか地元・青森の教育現場に貢献できる心理職になりたいと考えています。

一層強くなった先生とのつながり。
仲間と支え合いながら安心して
勉強に集中できる環境です。

心理学部への進学を決めた高校生の時から、公認心理師・臨床心理士の資格取得を見据えて大学院進学を決めていました。一方、学部で学ぶ中で、医療から教育や福祉にも興味が広がり、大学院では発達障害における男性と女性の性差による違いを研究したいと考えるようになりました。

跡見の心理学部はそもそも先生との距離が近く、親身にアドバイスしてくれる点が魅

力ですが、大学院ではその距離感が一層近くなりました。また日々の授業では意見を求められる機会が増え、自身の考えをアウトプットする力がついてきたと手応えを感じます。同期や先輩、先生方との“つながりの強さ”が、入学してから感じる一番の魅力。周囲からの刺激や助言を力に変え、実践的な授業を通して、将来に生きる実力を磨きたいと思っています。

実践的学びが伴う研究だからこそ、
価値が生まれる—。
跡見学園女子大学大学院の魅力について
4人の先輩にお話を伺いました。

人文科学研究科 日本文化専攻



人文科学研究科 日本文化専攻
跡見学園女子大学 文学部
人文学科 卒業

多様な視点から日本文化を学べるため、
学芸員に求められる
幅広い知識や視野が身につく。

地元・埼玉県川越市の旧村地域をテーマに、成り立ちや歴史を研究しています。同じ川越なのに、地元の人々は川越駅周辺へ行くことを「川越に行く」と表現します。このことに疑問を持ち、もともと川越市ではなかったその地域の歴史をたどるようになりました。地元の博物館とのつながりを通じて、貴重な絵図や古文書を見せていただけるようになったことは大きな支えです。大学院では、日本史に加え

て美術史や民俗学なども学ぶことができ、幅広い知識が求められる学芸員としての将来に役立つと感じています。講義は少人数で、先生方が学生一人ひとりの関心に合わせて柔軟に授業を組み立ててくださる点も魅力です。将来は、子どもたちが地域の歴史や文化に触れるきっかけとなるような展示やイベントを企画し、地域の魅力を次世代に伝えられる学芸員を目指したいと考えています。

マネジメント研究科 マネジメント専攻



マネジメント研究科 マネジメント専攻修了
文京学院大学 経営学部 経営コミュニケーション学科 卒業
東北大学大学院 農学研究科 生物生産科学専攻 修了

研究活動にとどまらず、
人とのつながりの大切さや
地域との関わり方など多くを学んだ。

跡見の大学院では、ベトナムにおける農業協同組合の活動について研究。その後東北大学の博士課程へ進みベトナム企業の人材育成管理について研究しました。跡見は少人数制で、先生に気軽に相談できる機会が多く、また指導教員だけでなく他の先生方からも多角的なアドバイスが受けられる点が魅力でした。修了後も先生方とのつながりは継続しており、毎年年初に近況報告をさせていただいています。

2025年からは茨城県八千代町の町役場に勤務し、地域おこし協力隊として多文化共生の地域づくりに取り組んでいます。跡見で学んだ地域との関わり方や人とのつながりが、今の仕事に大きく生かされています。これからは、町に暮らす外国人と地域の方々が交流できるイベントを企画し、互いを理解し合える場をつくっていきたく考えています。跡見は、自分の研究にじっくり向き合いながら、視野を広げて成長できる場所でした。

人文科学研究科

臨床心理学専攻

実践的な教育と研究を通じ
高度な専門的知識を修得した
心理臨床家を養成。

*国家資格「公認心理師」養成カリキュラム対応
*(公財)日本臨床心理士資格認定協会第一種指定大学院

◎ 特色

公認心理師と
臨床心理士両方の
受験資格取得が可能。

本大学院では、2018年度入学生より公認心理師養成カリキュラム*を開始しています。また、日本臨床心理士資格認定協会第一種指定大学院でもあり、「臨床心理士」資格取得にも今までどおり対応します。これにより、大学院修了後に、「公認心理師」「臨床心理士」両資格の受験資格を得ることができます。
(*公認心理師受験資格のためには、大学院入学前に、大学にて所定の科目を修得している必要があります)

「臨床心理実習I(心理実践実習A)」
「心理実践実習B」では、
実践力をつけることを重視。

「臨床心理実習I(心理実践実習A)」
「心理実践実習B」は、公認心理師試験受験資格取得に必要な科目です。「臨床心理実習I(心理実践実習A)」は、学外実習施設(医療機関、小・中学校、適応指導教室、療育施設、EAP:従業員支援プログラムなど)での実習を行います。「心理実践実習B」は、大学附属心理教育相談所で実際にケースを担当し、心理面接を行います。ケースを担当する際には、毎セッションの前後に、教員によるスーパーヴィジョン(1対1の臨床指導)を受けることができます。これらの450時間以上にもものぼる豊富な実習経験により、修了後すぐに臨床現場で働ける力を養えます。

◎ 教育理念

臨床心理学専攻は、臨床心理学とその関連分野において、実践的な教育と研究を通じ、高度な専門的知識を修得するとともに、職業人として自律し自立した心理臨床家を養成することを目的としています。今日のような、急速に変貌しつつある現代社会においては、心の問題も複雑・多様化してきています。また、心の支援を要する人々だけでなく、すべての人々の心身の健康の保持増進も大きな課題です。このような課題を解決する上で、専門的な教育を受けた心理臨床家の役割がますます重要になっています。臨床心理学専攻では、人間の心のしくみ・働きを学ぶとともに、様々な心の問題に対処する上での、専門的な知識と技術を身につけることを教育目標としています。特に、本学附属の教育研究施設である心理教育相談所や、地域の施設での幾度も実践を通じて、多数の臨床事例に触れることにより、実践的な能力を教授します。保健医療分野、福祉分野、教育分野、司法・犯罪分野、産業・労働分野などの幅広い分野で貢献することを目指しています。

◎ ディプロマポリシー

臨床心理学専攻は、高度専門職業人として自律し自立した心理臨床家の養成を目的として、次の5つの能力の修得を目指します。

- 1.基礎・実験系、発達・教育系、社会系、医療系等の心理学の幅広い知識と能力。
- 2.実践科学としての臨床心理学に関する、より高度に専門的な知識と能力。
- 3.人間尊重の精神、高い倫理観、科学的な態度をもって、問題に取り組む能力。
- 4.多領域、多職種の人々と協働しながら、様々な心理的な問題に対して、臨床心理査定、臨床心理面接、臨床心理的地域援助などを提供する心理臨床家としての知識と能力。

5.「公認心理師(国家資格)」や「臨床心理士(公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会認定資格)」の資格取得のために必要な知識と能力。

◎ 修士論文 (2024年度修了生)

- 対人援助職選択のプロセスに関する研究—障害のある同胞から受ける影響を中心に—
- 女子大学生におけるゆるし傾向性がセルフステイグマを介して援助要請態度に与える影響
- 保護司の資質、保護司活動の地域差及び後継者育成の課題の検討
- 大学生・大学院生における犬とのふれあいと犬動画の視聴が感情状態に及ぼす影響について
- メンタルヘルス上の問題を抱える人の配偶者が困難に対処し乗り越えていくプロセス
- 学校現場における心理教育アプローチの機能の研究—スクールカウンセラーと教師の協働に向けてのフィールドワーク—
- 青年期女子の親準備性を活性化するための心理教育プログラムの効果検討
- インターネットでの“生活”における心理的支え
- 発達障害児を持つ親の謝罪ストレス軽減を目的とした心理教育プログラムの開発
- ヤングケアラーの行動は自発的な「思いやり」によるものか?—当事者を対象とした現象学的アプローチ—
- 大学生・大学院生の友人関係満足度に及ぼす過去の友人関係の影響
- セラピストの視線及び大勢の変化がクライアントに及ぼす影響—セラピストのロールプレイを視聴した大学生による評価から—
- 自己受容プロセスにおける他者の影響
- 女子大学生を対象とした短期マインドフルネスプログラムの効果検討
- 就労移行支援事業所を利用した精神障害者が就労を継続していくプロセス

小児医療・療育における
心理臨床を
学ぶ。



教授(心理学部長)

松寄 くみ子 MATSUZAKI Kumiko

心理臨床の現場としては、大学病院の小児科、個人開業の小児科クリニックなどにおける心理職として、来談される子どもと、そのご家族の相談を担当しています。「発達心理学特論」では、心理臨床家として、子どもとご家族に関わる上で必要な発達の視点を身に付け、発達心理学における最新の知見に触れることを目指しています。ひとりでも多くの心理臨床家が、子どもたちと、そのご家族の笑顔のために貢献できることを願っています。

● 担当科目	発達心理学特論 臨床心理基礎実習 心理実践実習B 臨床心理学演習
● 専門分野	小児科心理臨床
● 研究テーマ	小児医療、教育、福祉などの領域において、子どもとその家族が抱える様々な困難について、それぞれの立場からの資源を有効に活用し、それぞれが、よりよい状態に近づくための理論と技術、システムを、心理臨床学の立場から検討する。
● 主要研究業績	『イメージの臨床心理学』(共著、誠信書房)、 「臨床心理士による喘息児セルフケア支援の有効性に関する検討—臨床症状、肺機能、および薬価からみた治療薬の変化—」(共著『日本小児アレルギー学会誌』21・2号 2007年、日本小児アレルギー学会臨床研究奨励賞「ふくろう賞」受賞)、 「日本小児精神神経学会推薦総説 小児医療における心理・社会的サービスの充実にむけて」(単著、小児科学会雑誌、119(12))、 「小児医療・療育の現場で働く 心理職のためのミニマルエッセンス」(共同編集、小児の精神と神経、58(増刊号)) など。

※2025年度末退職予定。

心と身体の
両面を理解できる
心理職を目指して。



教授

宮岡 佳子 MIYAOKA Yoshiko

心理職は、医療、教育、福祉などの分野で活躍しています。どこであっても、精神疾患を有する人に会うはず。『精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)』では、精神疾患を中心に、身体疾患、多職種連携などについて学びます。ここでの学びを、外部施設での実習「臨床心理実習I(心理実践実習A)」を通して理解を深めます。「臨床心理学演習」では、主に女性のメンタルヘルスをテーマとしています。

● 担当科目	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開) 臨床心理実習I(心理実践実習A) 心理実践実習B 臨床心理学演習
● 専門分野	女性精神医学・心身医学 成人発達障害
● 研究テーマ	精神科医として診療を行いながら、女性のメンタルヘルスや成人期の発達障害について研究を続けている。対象としている疾患は、うつ病、摂食障害、月経前症候群、更年期障害、成人発達障害などである。
● 主要研究業績	「賛否両論の病気 ころとからだのはざままで」(共著、中外医学社)、 「公認心理師カリキュラム準拠 精神疾患とその治療」(共著、医歯薬出版)、 「女性のうつ病 ライフステージからみた理解と対応」(共著、メディカルサイエンスインターナショナル)、 「成人発達障害女性の対人ストレスコーピングにカモフラージュと自己不変性が与える影響」(共著、「跡見学園女子大学心理学部紀要」17号 2025年)、 「月経前不快気分障害(PMDD)の診断と評価の実際」(『精神科治療学』39巻 2024年)、 「精神科医は更年期女性をどう診るべきか」(『最新精神医学』22-1号 2017年)など。

選ばれる
心理職になる!



教授(心理教育相談所長)

下山 晴彦

SHIMOYAMA Haruhiko

現代の日本社会は、不安や落ち込みの原因になることがいっぱいです。誰もが何らかの心理的問題を抱えています。私は、そのような問題を少しでも改善するためにはどのような方法があるのか、その方法をサービスとして多くの人にどのように提供できるのかを研究しています。授業では、心理的問題解決を支援する専門職である心理職を教育し、技能を高める訓練を担当しています。

● 担当科目	臨床心理面接特論I(心理支援に関する理論と実践)、II 臨床心理実習II 心理実践実習B 臨床心理学演習
● 専門分野	臨床心理学
● 研究テーマ	認知行動療法を中心とする心理支援サービスの開発と実装、心理的問題の成り立ちを解明するアセスメントとケースフォーミュレーション、ICTを使った心理支援サービスの提供、子どもの心理支援
● 主要研究業績	『臨床心理学をまなぶ1 これからの臨床心理学』(単著、東京大学出版会)、 『臨床心理学をまなぶ2 実践の基本』(単著、東京大学出版会)、 『臨床心理学入門』(編訳、東京大学出版会)、 『誠信心理学辞典 新版』(編集代表、誠信書房)、 『文系のためのめっちゃやさしい心理学』(監修、NEWTON PRESS)、 『こころのストレッチ』(編著、主婦の友社)、 『発達障害のある人のもの見方・考え方』(監修、ミネルヴァ書房)、 『公認心理師のための「基礎科目」講義』(編著、北大路書房)、 『公認心理師のための「心理査定」講義』(編著、北大路書房)、 『公認心理師スタンダードテキストシリーズ1 公認心理師の職責』(編著、ミネルヴァ書房)、 『公認心理師スタンダードテキストシリーズ3 臨床心理学概論』(編著、ミネルヴァ書房)など。



教授	酒井 佳永 SAKAI Yoshie
● 担当科目	臨床心理査定演習I(心理的アセスメントに関する理論と実践) 臨床心理査定演習II 心理実践実習B基礎 臨床心理学演習
● 専門分野/研究テーマ	臨床心理学、精神保健学/精神科医療における心理支援および心理的アセスメント、精神疾患を患う人やその家族への支援を専門としている。現在は、双極性障害の早期スクリーニング、ICTを利用した家族支援、統合失調症における病識に関する研究を行っている。
● 主要研究業績	『インターネット調査による気分障害患者の女性配偶者における感情表出、負担、抑うつ、およびそれらに関連する要因のパス解析』(共著、精神神経学雑誌、122(1)、2020年)、 『双極性障害と家族』(単著、臨床精神医学、46(3)、2017年)、 『心理的アセスメント』(編著、木立の文庫)、 『「はたらく」を支える!職場×双極性障害』(分担執筆、南山堂)など。



教授	宮崎 圭子 MIYAZAKI Keiko
● 担当科目	産業・労働分野に関する理論と支援の展開 臨床心理実習I(心理実践実習A) 心理実践実習B基礎 臨床心理学演習
● 専門分野/研究テーマ	臨床心理学、ポジティブサイコロジー、心理教育、遠隔カウンセリング、産業臨床/①ポジティブサイコロジー:非健常者を含めたすべての人々の優れた機能(ハーディネス、愛他行動、感謝の力、コヒアレンスなど)、②遠隔カウンセリング:ネットの急速な発達を鑑みて、遠隔カウンセリングの問題点、トレーニングの方法、③心理教育:目的に応じたプログラム(自己理解、デス・エデュケーションなど)を開発しその効果研究、などを行っている。
● 主要研究業績	『サイコエデュケーションの理論と実際』(遠見書房)、 『対人関係のスキルを学ぶワークブック』(共著、培風館)、 『心の健康教育』(編著、木立の文庫)など。

※2025年度末退職予定。



教授	板東 充彦 BANDO Michihiko
● 担当科目	臨床心理学特論 臨床心理実習II 臨床心理学演習 心理実践実習B
● 専門分野/研究テーマ	臨床心理学、コミュニティ心理学/集団やコミュニティに対する臨床心理学の応用可能性に関心を抱いている。研究テーマは、ひきこもり者のサポートグループ及びセルフヘルプ・グループ代表者のネットワークづくりの実践、事例検討会の集団力、コミュニティ心理学的支援のアセスメントと介入技法、社会科学分野におけるコミュニティ論の応用等である。
● 主要研究業績	『ひきこもりと関わる一日常と非日常のあいだの心理支援-』(単著、遠見書房)、 『公認心理師の職責第2版(公認心理師の基礎と実践 第1巻)』(共著、遠見書房)、 『公認心理師実践ガイダンス3 家族関係・集団・地域社会』(共同編集、木立の文庫)、 『サポートグループの実践と展開』(共著、金剛出版)など。



教授	新井 雅 ARAI Masaru
● 担当科目	教育分野に関する理論と支援の展開 臨床心理学研究法特論 臨床心理実習I(心理実践実習A) 心理実践実習B基礎
● 専門分野/研究テーマ	臨床心理学、学校心理学/①スクールカウンセリングや学校予防教育、チーム学校における連携・協働など、児童青年期の子どもの問題行動、学校不適応などに対する心理教育的援助に関する研究、 ②心理専門職による研究活動や科学者・実践家モデルに基づく専門活動と教育訓練についての検討、などを行っている。
● 主要研究業績	『心理専門職によるアセスメントを基盤とした教師との協働的援助』(風間書房)、 『スクールカウンセラーと教師のアセスメントの共有方略が協働的援助に及ぼす影響』(共著『心理臨床学研究』34-3号 2016年)、 『心理専門職による研究知見の効果的生成・臨床的活用・社会的普及に関する展望』(『心理臨床学研究』36-6号 2019年)など。

公認心理師資格試験合格状況

第8回(2025年3月実施)試験(2024年度修了生)

受験者数 **13** 人 合格者数 **11** 人 合格率 **84.6%**

第7回(2024年3月実施)試験(2023年度修了生)

受験者数 **13** 人 合格者数 **11** 人 合格率 **84.6%**

臨床心理士資格試験合格状況 2024年度資格試験(2023年度修了生)

受験者数 **11** 人 合格者数 **7** 人 合格率 **63.6%**

カリキュラム構成

必修	1年次	● 臨床心理学特論【4】 ● ⑦臨床心理面接特論I(心理支援に関する理論と実践)【2】 ● 臨床心理面接特論II【2】 ● ⑥臨床心理査定演習I(心理的アセスメントに関する理論と実践)【2】 ● 臨床心理査定演習II【2】 ● 臨床心理基礎実習【2】
	2年次	● ⑩臨床心理実習I(心理実践実習A)【2】 ● 臨床心理実習II【2】 ● ⑩心理実践実習B【2】 ● 臨床心理学演習【4】
選択	A群	● 心理統計法特論【2】 ● 臨床心理学研究法特論【2】
	B群	● 発達心理学特論【2】 ● 学習心理学特論【2】
	C群	● ⑧ 家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)【2】 ● ④ 犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)【2】
D群		● ① 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)【2】 ● 老年心理学特論【2】 ● ② 障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)【2】
	E群	● 心理療法特論【2】 ● グループアプローチ特論【2】 ● ③教育分野に関する理論と支援の展開【2】 ● ⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開【2】 ● ⑨心の健康教育に関する理論と実践【2】 ● ⑩心理実践実習B基礎【1】

*【 】は単位

修了要件

- 大学院に2年(2年以外の標準修業年限を定める研究科、専攻又は学生の履修上の区分にあっては、当該標準修業年限)以上在学し、30単位以上(内訳は下記のとおり)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本大学院の行う修士論文の審査及び試験に合格することとする。
- 臨床心理学専攻修了要件数内訳 必須科目24単位を含む30単位以上
- ※ 公認心理師を受験するためには、①~⑩すべての科目を修得する必要がある。
- ※ 臨床心理士を受験するためには必修科目(心理実践実習Bをのぞく)および選択科目のA~E群すべてから各2単位以上を修得する必要がある。

授与学位

- 修士(臨床心理学)

就職進路 修了生 **15** 人 2024年度修了生

就職 **14** 人

主な職種

自治体心理職、スクールカウンセラー、医療機関、児童福祉施設、療育施設 など

※ 臨床心理学専攻修了生は、修了した年の10月~11月に行われる臨床心理士資格試験を受験し合格後に改めて資格職に就く者が多い。

※ 「就職」、「調査時点」の定義は下記のとおりである。(定義は文部科学省の定義に準じている)

①「就職」とは正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者。

②調査時点は2025年5月1日現在。



教授	小栗 貴弘 OGURI Takahiro
● 担当科目	心理療法特論 グループ・アプローチ特論 心の健康教育に関する理論と実践 臨床心理基礎実習 心理実践実習B
● 専門分野/研究テーマ	学校臨床心理学、コミュニティ心理学/主に高校生の中退予防について研究している。高校中退予防を「普遍的予防」「選択的予防」「指示的予防」の3段階に分けて、それぞれの段階の介入内容の検討や効果評価を行っている。その他、学校コンサルテーションや不登校予防についても研究を行っている。
● 主要研究業績	『コミュニティアプローチの実践 : 連携と協働とアドラー心理学』(分担執筆、遠見書房)、 『障がい児保育の基本と課題』(分担執筆、学文社)、 『ワークで学ぶ学校カウンセリング』(分担執筆、ナカニシヤ出版)、 『子ども家庭支援の心理学』(分担執筆、北樹出版)など。



教授	前場 康介 MAEBA Kousuke
● 担当科目	心理統計法特論 心理実践実習B
● 専門分野/研究テーマ	臨床心理学、健康心理学 / 人間の諸行動に伴うセルフ・エフィカシーに焦点を当てた研究を行っている。具体的には、セルフ・エフィカシーに影響を与える情報源の定量化およびその選択的強化方法の検討である。特に、セルフ・エフィカシーの強化に有効な言語的メッセージの内容や伝達方法による効果の基礎研究に取り組んでいる。
● 主要研究業績	『健康心理学事典』(分担執筆、丸善出版)、 『公認心理師実践ガイダンス<3>』(分担執筆、遠見書房)、 『行動変容を促すヘルス・コミュニケーション』(分担執筆、北大路書房)、 『シリーズ心理学と仕事<12> 健康心理学』(分担執筆、北大路書房)など。



准教授	岡本 潤子 OKAMOTO Junko
● 担当科目	犯罪心理学特論 犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)
● 専門分野/研究テーマ	臨床心理学、非行・犯罪に関する臨床、非行・犯罪からの立直り、情状鑑定(心理鑑定)、司法現場における子どもの権利/家庭裁判所調査官として少年事件・家事事件の調査実務を担当した経験を基盤として、活動している。人の立直りまでを視野に入れたアセスメントの探求、また、司法に関する現場における子どもの権利の問題を発信している。
● 主要研究業績	『司法・犯罪領域の制度と法』(3)民事・家事(公認心理師スタンダードテキスト)シリーズ「関係行政論」第12章分担執筆、ミネルヴァ書房)、 『更生保護施設における非行少年の社会復帰支援の実情』(共著、帝京大学心理学紀要第21号)など。



准教授	福島 里美 FUKUSHIMA Satomi
● 担当科目	臨床心理実習II 老年心理学特論
● 専門分野/研究テーマ	臨床心理学、福祉心理学、コミュニティ心理学、家族心理学/里親家庭や養子縁組家庭の支援を専門とする。児童相談所相談員、スクールカウンセラーを経て、現在は、里親養育相談と養育者の研修、子育てスキルのトレーニングを行う。血縁関係にない家族の関係形成について研究を続けている。
● 主要研究業績	『子どもと家族への心理的支援 家族心理学年報41』(分担執筆、金子書房)、 『試し行動と試してはならない行動を乗り越える里親』(単著、Amazon Services International LLC)、 『小学校スクールカウンセリング入門』(分担執筆、金子書房)、 『教師のためのプリーフセラピー』(共著、アルテ出版社)など。

人文科学研究科

日本文化専攻

日本文化に関する
高度な知識と教養を身につけた
専門的知識人を養成。

◎ 特色

専門分野の演習と
修士論文作成に特に力を入れ、
多くの特論から
広い視点を学びます。

本大学院には、講義科目である「通論」・「特論」と、演習科目である「日本文化演習」があります。「日本文化演習」では、指導教員のもと専門的な指導を受け、修士論文を作成します。「通論」は、4領域にわたって5科目が設けられ、すべてが必修です。「特論」では、「東洋思想特論」や「比較文化特論」を含めた、日本文化を探究する上での様々な科目があります。

日本の文化を深く
探究した力をもって、
社会に貢献できる
専門的職業人を育成します。

独自の文化を形成してきた列島に生きる私たちは、列島の視点に立ちつつも、熟く世界へと眼を向ける必要があります。国際社会の中で日本文化を研究するということは、これを意識的に追究すること。日本文化専攻は、日本各地に根ざした文化に関する高度な専門的知識をもって、様々な分野で活躍できる人材を育てます。

◎ 教育理念

日本文化専攻は、社会の諸分野において日本文化の進展に貢献できる高度な知識と教養を備えた研究者を養成するとともに、日本文化に関わる諸分野において指導的な役割を果たし、外国との文化交流にも携わりうる専門的知識人を養成することを目的としています。具体的には、「日本思想、日本芸術、日本民俗・社会、日本文学」の四領域・五演習を設定し、すべての領域にまたがる日本文化の形成過程を広く学びつつ、個々の領域における専門的な研究を深めます。この研究は、常に世界の文化との関わりに目を配りながら行われ、アジア地域の文化をはじめとする外来文化を受容しつつ、列島において、独自の文化が形成されてきたことに、特に留意して行われます。

修士した後は、大学院博士課程、博物館、美術館、教育・出版関連企業、文化イベント企業など、日本文化に関わる諸分野で活動できる専門的職業人が輩出されることを目指しています。

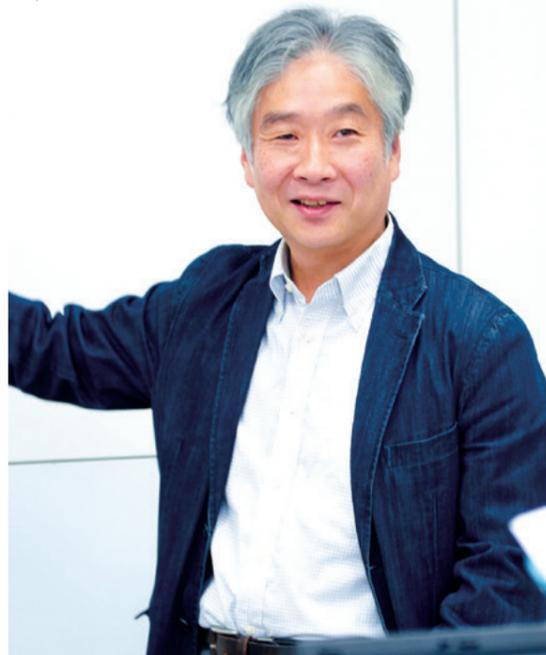
◎ ディプロマポリシー

日本文化に関する高度な知識を身につけるとともに、教育課程を通じて培った教養を踏まえて、日本文化に関する主体的・独創的研究を成し遂げることを目指します。

◎ 修士論文

- 日本絵画に見る多視点
- 安藤家文書に見る丸子の渡し
- 海女の民俗史
—イエ経営における男女の相互補完—
- 八重山蔵元絵師画稿集を絵解く
—絵から浮かび上がるやいまの姿—
- 近世後期加賀藩社会における茶の湯の展開
- 浦島伝説と四季概念の変遷について
- 『源氏物語』における懐妊・出産と厄年の研究
- 円山応挙の屏風絵
—花鳥画大画面の再編—
- 歌川広重の堅絵における空間表現
- かわいい美術論
- 和宮降嫁と民衆
- 近世における相模湾海域の村と江戸の関係
- 北の大地と日本海交易—加能の人々を中心に—
- 武蔵国川口における近世鋳物業の一考察
- 近世江戸内湾漁業
—葛西磯付村から内湾漁業を再考する—
- 鬼の図像史
—雷神との関わりを中心に—
- 茶道の近世的展開と近代への歩み
—道としての茶道と遊芸としての茶道そして跡見花蹊—
- 高島華宵とその人物描写に関する考察
- 菱田春草という人間と絵画について
- 菱田春草<落葉>の空間表現と「距離」についての一考察
—「画界漫言」を手掛かりにして—

素朴絵の研究。
日本美術の
オリジナリティを探る。



教授

矢島 新 YAJIMA Arata

日本の美術史は、他の文化圏には見られないオリジナリティを育んできました。これまで大胆なデザイン性や渋いわびの美意識などが識者によって強調されてきましたが、これに素朴を愛する美意識を加えたいと考えています。日本における素朴美の系譜はおそらく縄文時代までさかのぼりますが、現在は主として白隠や仙厓の禅画や、旅人にお土産として売られた大津絵など、主に江戸時代の庶民的な造形の持つ素朴美について研究しています。

● 担当科目	日本芸術通論 日本文化演習
● 専門分野	日本美術史
● 研究テーマ	「素朴美の系譜」 白隠の禅画や円空の作仏などの近世の宗教美術を主たるフィールドに、日本の庶民的な造形作品の中の素朴な表現を検証している。素朴な味わいを持った造形には日本独自の美意識が表れており、ゆるキャラなどにもつながる現代性も秘めているのではないかと考えている。
● 主要研究業績	『日本美術の発見者たち』(共著、東京大学出版会)、 『木喰仏』(東方出版)、 『近世宗教美術の世界』(国書刊行会)、 『日本の素朴絵』(ピエ・ブックス)、 『かわいい禅画 白隠と仙厓』(東京美術)、 『ゆるかわ日本美術史』(祥伝社新書)、 『日本美術の核心—周辺文化が生んだオリジナリティ』(ちくま新書)など。

古典文学を
深く
研究する。



教授

植田 恭代 UETA Yasuyo

古典文学の本文を精査し、文化的背景をも視野に入れながら、作品の特徴を検証し論理的に明らかにすることを目指します。個々の作品が文学史的にどのように位置付けられてきたのかと顧みることを念頭に置きつつ、主な対象として、古代の所産である文学の中から中古文学を中心に取り上げ研究します。

● 担当科目	日本文学特論 日本文学史特論 日本文学通論 日本文化演習
● 専門分野	『源氏物語』を中心とした日本古典文学
● 研究テーマ	古典文学の言葉をいかに豊かに捉えることができるのかを根幹に据え、宮廷文化などを主な観点としている。
● 主要研究業績	『源氏物語の宮廷文化』(笠間書院)、 『紫式部』(笠間書院)、 『源氏物語事典』(共編著、大和書房)など。



教授

日本伝統社会の
基底を紐解く。

長谷川 裕子 HASEGAWA Yasuko

歴史といえば暗記科目、と捉えられがちですが、歴史学は単に過去の出来事を明らかにすることだけが目的ではありません。私たちがよりよい未来を生きるためにも、現代社会が抱える様々な課題・問題に対する解決の糸口を歴史の中に探り、過去の人々の叡智に学ぶ必要があります。大学院の授業では、戦争・災害・飢饉によって生命の危機に瀕していた前近代の人々が、その経験から生み出した「生き残り」策に学びながら、日本中世・近世社会の特質を考えていきます。

- 担当科目 日本社会史通論
日本社会史特論
日本文化演習
- 専門分野 日本中世史
村落交流史
- 研究テーマ 戦国時代(15世紀後半)から江戸時代前期(17世紀)における村社会の構造や、戦乱や災害・飢饉が頻発する厳しい状況下における人々の「生存」問題について研究している。現代における社会問題に目を配りつつ、地域に眠る史料を掘り起こしながら、人の「生存」を支えた人々や仕組みについて考察している。
- 主要研究業績 『中近世移行期における村の生存と土豪』(校倉書房、2009年)、
『戦国期の地域権力と惣国一揆』(岩田書院、2016年)、
『湖西の村の「生存史」—鵜川をめぐる小松・打下の三百年闘争—』(蔵持重裕編「中世の紛争と地域社会」、岩田書院、2009年)、
『越前朝倉氏にみる戦国武将の自他認識—「朝倉宗滴話記」が語る戦国社会—』(『戦国史研究』70号、2015年)、
『中近世移行期における土豪の機能とその変化—軍事・外交機能の消失と村役負担の観点から—』(『人民の歴史学』209号、2016年)、
『若狭湾沿岸における海村の生業競合と地域社会—常神半島・三方五湖をとりまく村々の地域的分業—』(蔵持重裕編「日本中世社会と村住人」、勉誠出版、2021年)、
『生き続ける惣国一揆のかたち—一揆解体後の史料をよむ—』(歴史科学協議会編「深化する歴史学」、大月書店、2024年)など。



教授

近代日本思想史研究。
諸問題の淵源を探る。

松井 慎一郎 MATSUI Shinichiro

幕末に西洋列強の圧力により国際社会の扉を開いた日本を待ち受けていたのは、「帝国主義」と呼ばれる国際情勢でした。近代日本における思想家たちの最大の関心は、その弱肉強食の激烈な競争場裡をいかにして生き残れるのかということであり、「生存競争」の問題に必死に取り組み独自の思想を練り上げてきました。内憂外患の問題に苦しめられつつある今日、彼らの思想から学ぶべき点は極めて大きいと考え、研究と授業を進めています。

- 担当科目 日本思想通論
日本思想特論
日本思想史特論
日本文化演習
- 専門分野 日本近現代史
日本思想史
- 研究テーマ 明治末期から昭和初期にかけて流行した理想主義、自由主義思想に関する研究をしている。具体的には、河合榮治郎、石橋湛山、土田杏村といった思想家を取り上げて、彼らの思想を時代状況の中で実証的に考察することを目指している。
- 主要研究業績 『戦闘的自由主義者 河合榮治郎』(社会思想社)、
『教養の思想』(共著、社会思想社)、
『枢密院の研究』(共著、吉川弘文館)、
『河合榮治郎』(中央公論新社)、
『近代日本における功利と道義—福沢諭吉から石橋湛山まで』(北樹出版)など。



教授

森谷 裕美子 MORIYA Yumiko

- 担当科目 文化人類学特論
- 専門分野/研究テーマ 社会人類学、地域研究(東南アジア)/フィリピンの先住民社会を主なフィールドとし、先住民の権利やジェンダーの問題について研究している。近年は、戦前フィリピンへ渡った日系人と先住民、本土の日本人との関係性についても問題関心を広げ、研究を進めている。
- 主要研究業績 『ジェンダーの民族誌』(九州大学出版会、2004年)、
『フィリピンの山岳地帯に渡った日本人移民』(翻訳(見洋書房、2024年)、
「一九〇四年セントルイス万国博覧会と「ボントック頌歌」」(南島史学会編「東アジアにおける南島研究」春風社、2021年)、
『農業労働者としてのフィリピン先住民』(『跡見学園女子大学 人文学フォーラム』2022年)、
『フィリピン・北部ルソンにおける日系人と中国系移民』(『南島史学』2021年)、
『フィリピンの先住民と国際移動』(『跡見学園女子大学 人文学フォーラム』2021年)など。



准教授

劔持 あずさ KENMOCHI Azusa

- 担当科目 比較文化特論
- 専門分野/研究テーマ 西洋美術史/イタリア・ルネサンス美術、特に15世紀フィレンツェ派の絵画を中心に研究している。最近では、市民や家族の表象という視点から肖像画について考察している。他方、近代日本における西洋美術の普及や洋画の展開にも関心をもち、大学院では、主に明治期の洋画について、比較美術史の観点から考察する。
- 主要研究業績 『みるしるしらべるコレクション 高橋由一 鴨岡』(共著、山口県立美術館2009年)、
『15世紀素描にみる創造する手—フィリップ・ノ・リッピを中心に—』(『作品における制作する手の顕在化をめぐる歴史的研究』2017年)、
『額縁の向こう側:フラ・アンジェリコ作(コルトーナ祭壇画)の空間表現をめぐって』(『跡見学園女子大学 人文学フォーラム』2020年)、
『肖像画がひらく家族のすがた—ドメニコ・ギランダイオ(フランチェスコ・サッセッティと息子テオドロ)をめぐって—』(『跡見学園女子大学 人文学フォーラム』2022年)など。

カリキュラム構成

- 必修 1年次 ●日本思想通論【2】
●日本芸術通論【2】
●民俗学通論【2】
●日本社会史通論【2】
●日本文学通論【2】
●日本文化演習【4】
- 2年次 ●日本文化演習【4】※日本文化演習は、2年間にわたり履修し、8単位必修。
- 選択 ●日本思想特論【2】
●日本思想史特論【2】
●東洋思想特論【2】
●日本芸術特論【2】
●日本美術史特論【2】
●日本芸能特論【2】
●民俗学特論【2】
●女性史特論【2】
●日本社会史特論【2】
●文化人類学特論【2】
●日本文学特論【2】
●日本文学史特論【2】
●比較文化特論【2】

*【 】は単位

修了要件

- 大学院に2年(2年以外の標準修業年限を定める研究科、専攻又は学生の履修上の区分にあっては、当該標準修業年限)以上在学し、30単位以上(内訳は下記のとおり)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本大学院の行う修士論文の審査および試験に合格することとする。
- 日本文化専攻修了要件単位数内訳 必修科目18単位を含む30単位以上

授与学位

- 修士(人文学)

マネジメント研究科

マネジメント専攻

マネジメントの
課題発見・解決力と論理的思考力を
多様な職業領域で発揮できる人材を養成。

◎ 特色

多数の実務家出身教員が
指導を担当。

教員の半数以上は、行政・実業界・文化事業などにおけるマネジメント経験を有する実務家出身です。優れた教育研究業績を有する教員とともに、実践的かつ理論的なマネジメント能力をもつ人材を養成しています。

◎ 教育理念

マネジメント研究科では、実践的で総合的なマネジメント・マインドを十分に具え、多様な職業領域で指導的役割を果たし、そこで高度なマネジメント能力を実際に発揮することのできる人材を養成することを目的としています。具体的には、一般企業のエグゼクティブ(経営幹部)・管理職や起業家、行政・公的機関、NPO・NGOなどの幹部職員として活躍できる人材の育成を目指しています。

マネジメント研究科では、マネジメントの様々な領域を幅広く学ぶ「マネジメント通論」と時代の要請でもある「リスクマネジメント通論」を必修科目としています。多様な領域の選択科目を学び、現代における社会的課題に独創的な解決策を提案できる能力を身につけられるよう「マネジメント演習」において研究指導を行っています。

マネジメント研究科は学部卒業生だけでなく、様々な経験を積んだ社会人、海外留学生の入学を歓迎しています。

◎ ディプロマポリシー

マネジメントに関する高度な専門知識を備え、マネジメントの課題発見・解決力と論理的思考力を発揮することにより、独創的な研究成果をまとめ、発表する能力を身につけます。

◎ 修士論文

修士課程の研究の総仕上げが修士論文です。企業、公共、文化、環境、生活科学の分野からなる研究科の特性を反映して、これまでに提出された論文の題目は多彩です。理論的検討を中心とした文献研究のほか、個別事象を吟味する事例研究や統計解析などの実証的アプローチなど、様々な取り組みが行われています。

- 中国に進出した日系企業のリスク対応について
- 派遣労働者のあり方と派遣労働者のキャリア形成に関する考察
- 中国における企業の社会的責任(CSR)
—中国に進出した日系企業からの考察—
- 漫画、アニメ、ゲームにおける二次創作の研究
—二次創作とオリジナル創作の関係について—
- 聖地と観光地の多角的な研究

- 「インターネットプラス」時代
伝統ECの新たなビジネスモデル
- 日本における銀聯カードに関する研究
- 観光立市実現に向けた政策課題の変遷
- 日本化粧品企業の中国市場戦略について
- 震災被災者等への教育支援とそれにかかわる経済支援について
- 風評被害に見る消費者の意識の変化
—上海市と雲南省のケース—
- ベトナムにおける農業発展と環境保全
—新農協組織の導入とその可能性—
- 観光需要分析の要因分析
—中国延辺朝鮮族自治州の観光振興に向けて—
- 現代企業におけるSDGs
—女性活用の視点から—

◎ 修了生の進路

修了した皆さんは大学院での学びを生かして社会で活躍しています。主な就職先は、製造業、小売業、金融業、広告業です。また、修了後にさらに研究を続ける方もいます。

公立文化施設の
マネジメント論。



教授 (マネジメント研究科長)

曾田 修司 SOTA Shuji

地方自治体の文化政策において、文化振興とコミュニティ振興はどのような関係にあるのでしょうか。そのために、公立文化施設(劇場、ホール、博物館等)の果たす役割は何でしょうか。地域の文化資源を活用し、公立文化施設の持つポテンシャルを最大化するにはどうしたらよいのでしょうか。本授業では、都内の公立文化施設の活動事例を通して、文化芸術活動と地域の社会的課題に関わる実践的な文化マネジメントの在り方を考えます。

● 担当科目	文化マネジメント マネジメント演習
● 専門分野	文化政策 アーツ・マネジメント
● 研究テーマ	地方自治体の文化政策におけるアーツ・マネジメント人材の活用
● 主要研究業績	「公立文化施設運営に対する評価の視点」(跡見学園女子大学マネジメント学部紀要第38号、2024)、 「文化とアートのマーケティング」(共訳/F・コルベール 他著、曾田修司・中尾知彦訳、美学出版、2021)、 「新境地域から生まれた演劇」(曾田修司・林英樹責任編集、ひつじ書房、2019)など。
● プロフィール	現在、公益財団法人東京都歴史文化財団東京芸術劇場外部評価委員、杉並区文化・芸術振興審議会委員、等を務めています。

起業から廃業という
企業のライフサイクルに
注目しよう。



教授

許 伸江 KYO Nobue

バブル経済の崩壊やコロナ禍など、経済状況が悪化する中で、起業に注目が集まってきました。また、近年は中小企業の事業承継にも関心が高まっています。後継者不足という課題の一方で、女性後継者や若手後継者が、承継をきっかけにイノベーションやSDGsの取り組みにチャレンジしています。グローバル市場を目指すベンチャー企業がある一方で、地域社会に根付き、社会貢献に取り組む企業も多く存在します。起業、成長、承継、退出という企業のライフサイクルから、多様なマネジメントのあり方について学んでいきましょう。

● 担当科目	ベンチャー・マネジメント 起業論 マネジメント演習
● 専門分野	中小企業論
● 研究テーマ	地域産業とまちづくり、中小企業のCSR、女性起業家、中小企業のダイバーシティ・マネジメント
● 主要研究業績	『中小企業の経営』(編著、八千代出版)、 『地域とつながる中小企業論』(共著、有斐閣)、 『産業クラスターの進化とネットワーク：ファッション産業クラスター「東大門市場」と「原宿」の比較制度分析』(税務経理協会、 「中小企業とオープンファクトリー：墨田区の「スマイファ」からみる越境学習と地域交流」(『商工金融』商工総合研究所 2020年2月)、 「デザインと起業による地域産業の活性化」(『日本中小企業学会論集』33号 2014年)など。
● プロフィール	研究を通じて得た、中小企業の社長、地域イベント運営者、起業家とのネットワークがあります。 慶應義塾大学商学部 訪問教授 日本中小企業学会 理事兼幹事 日本経営学会 幹事

※入学願書として提出する研究計画書に希望指導教員を記入する際には、希望について事前に入試課へお問い合わせください。



教授

山澤 成康 YAMASAWA Nariyasu

おたくの消費行動、女子大生の景況感、ブランド品の売れ行き予測、朝鮮族自治州の活性化—これまで指導した修士論文のテーマです。一見脈絡がないように見えますが、共通しているのは計量経済学を使っている点です。計量経済学を使えば、どんな分野でも分析できます。論文作成で大事にしているのは独創性です。自分にしかできないものを追い求めること。これは、学問に関してだけでなく、日々の暮らしでも大事なことだと思います。

- 担当科目 経済予測論
マネジメント演習
- 専門分野 経済予測
経済統計
経済政策
- 研究テーマ 計量経済学を使った経済予測、経済予測の評価、景気指標の作成、アジア各国・地域の競争力比較などが研究の中心。経済予測に関する研究内容は自著「新しい経済予測論」(日本評論社)にまとめた。2016年4月から2018年3月まで総務省に出向し統計委員会担当室長を務めた。その経験から、最近では政府統計の改善や統計の活用に関する研究に重点を置いている。
- 主要研究業績 「月次GDP」開発で、特許公開。
『統計 危機と改革』(共著、日本経済新聞出版)、
『計量経済学15講』(共著、新世社)、
『実戦計量経済学入門』(日本評論社)など。
- プロフィール 日本経済新聞社に入社し、主にデータベース部門を担当。日本経済研究センターでは、経済予測を担当。全10巻のDVDである「プライマリー経済学」(サンエデュケーション)やディズニールンドを素材にした「ディズニーで学ぶ経済学」(学文社)の執筆など、わかりやすい教材作りにも力を入れている。50歳を超えてから、大型二輪免許や博士号を取得しました。



- 担当科目 リスクマネジメント通論
- 専門分野／研究テーマ リーダーシップ・モチベーション論、経営心理学、組織風土論／組織パフォーマンスと組織モチベーション・風土の関係、および、組織モチベーション、リーダーシップ向上の研究。
- 主要研究業績 『バリュエーションの経営』(共著、日本実業出版)、
『日本が永続するための条件』(共著、中央経済社)、
『歴史的偉人に学ぶ経営学』(ワールドジョイントクラブ誌)、
『ナンバー経営心理学』『組織力向上のカギはここにある』(ともに労務行政研究所)など。
- プロフィール 職歴:三菱総合研究所(経営コンサルティング) 兼務:リーダーシップ・モチベーション研修講師(企業など)



- 担当科目 人材マネジメント
マネジメント演習
- 専門分野／研究テーマ 人的資源管理、人材マネジメント／雇用問題の日韓比較研究、非正規雇用問題と日本的経営論、女性労働のキャリア問題、CSRとWLBに関する研究など。
- 主要研究業績 『外から見た日本の雇用』(八千代出版)、
『日本的雇用の経営学』(八千代出版)、
『日本企業の長時間労働問題に関する一考察—労働時間の経営学的アプローチ—』(『日本近代学研究会、韓国日本近代学会』2020年)、『日本の「働き方改革」論争の批判的検討—生産性論争を中心に—』(『跡見学園女子大学マネジメント学部紀要』28号 2019年)など。
- プロフィール 1998年～2006年 加耶大学国際通商学部助教授、2014年～2019年 立教大学大学院経営学研究科兼任講師



- 担当科目 観光経営論
マネジメント演習
- 専門分野／研究テーマ 観光経営論、サービスマーケティング、消費者行動論／消費者の親和性が旅行先選択に与える役割と影響、カジノを含む統合型リゾート(IR)が消費者の旅行先選択に及ぼす影響に関する研究など。
- 主要研究業績 Perception and Appraisal of Singapore's Integrated Resort Casino Users Using Online Reviews: Cases of Korean『長崎県立大学論集』56(1)、2022年)、
Research on Integrated Resorts (IR) and the Tourism Strategy Choice of Singapore(『Journal of International Trade & Commerce』,Vol.19(3),2023年)など。
- プロフィール サムングループ株式会社ホテル新羅(本社・韓国ソウル)を経て、同志社大学大学院商学研究科修了(商学博士)。



- 担当科目 企業ファイナンス
- 専門分野／研究テーマ 会計学／会計基準の設定プロセス、会計職業倫理
- 主要研究業績 「米国会計士の職業倫理基準における『虚偽または誤謬のある財務諸表に対する意見表明』に関する規定について—1917年から1941年までを中心として—」(『跡見学園女子大学マネジメント学部紀要』第38号)など。
- プロフィール 金融機関における勤務経験と、研究者としての経験の両方を生かして教育に取り組んでいます。



- 担当科目 マーケティング論
マネジメント演習
- 専門分野／研究テーマ マーケティングコミュニケーション、マーケティング論、消費者行動論
- 主要研究業績 『新広告心理』(共著、1991年、電通)、
『広告心理』(共著、2007年、電通)で日本広告学会賞受賞2回。
『社会調査事典』(共編著、2014年、丸善)、
『現代広告全書』(分担執筆、2021年、有斐閣)、
『デジタル時代のブランド戦略』(分担執筆、2023年、有斐閣)、
『現代広告論(第4版)』(共著、2024年、有斐閣)など。
- プロフィール 実務家として、広告や広報、市場調査などマーケティング実務に長年携わって来ました。



- 担当科目 ファッションマネジメント
- 専門分野／研究テーマ 服装史、衣生活／舞台芸術とファッション、ファッション情報の伝達
- 主要研究業績 「ファッション・ドールの役割と可能性」(『秋草学園短期大学紀要』37号 2021年)、
『発想が広がる ファッション・アパレル図鑑』(分担執筆、ナツメ社、2023年)、
「ハレエ・リュスの作品におけるオリエンタリズムとファッション・ボール・ボワレのオリエンタリズムとの比較」(『服飾文化学会誌』2006年)、
「水着の歴史に見る身体意識の変化」(『服飾文化学会誌』2005年)など。
- プロフィール 博士(学術)。大学院家政学研究科修了後、大学、短大等でファッション関連の授業を担当してきました。ファッションが持つ文化的・社会的な意味を様々な視点から考え、学んでいます。



- 担当科目 財務マネジメント
マネジメント演習
- 専門分野／研究テーマ 財政学、財政政策、金融論、金融政策／慢性的な国の財政赤字により国債の大量発行が常態化しているが、それは現在の金融政策に基づく日銀の国債買切と表裏一体の関係にある。財政面からは財政規律の確保や財政硬直化について、金融面からは金融政策の有効性や出口戦略について考察したい。
- 主要研究業績 「日本経済とマクロ経済政策についての考察」(『財務総合政策研究所 ディスカッション・ペーパー』166号 2006年)、
「為替レートと通貨についての考察」(『財務総合政策研究所 ディスカッション・ペーパー』193号 2007年)など。
- プロフィール 大学卒業後、財務省(当時の大蔵省)に入省し、大阪税関長など幅広い公務に従事しました。



- 担当科目 サステイナブルマネジメント
- 専門分野／研究テーマ 環境科学、地球科学／生活に関わるいろいろな物品のライフサイクルアセスメント(LCA)評価、「環境配慮コミュニケーション設計(CDfE)」と環境教育
- 主要研究業績 『環境科学概論』(共著、大学教育出版)、
「ADSORPTION MECHANISM OF Pb ON PAPER SLUDGE ASH TREATED BY NaOH HYDROTHERMAL REACTUION」Clay Science,12, p.243-248,2004 Takao Ando, et al.
(Clay Science 論文賞)など。
- プロフィール 様々な環境・エネルギー問題に取り組むと同時に、その成果を活かした町おこしや環境教育の実践を行ってきました。環境科学と社会科学の両面をサポートすることができます。



- 担当科目 都市環境論
- 専門分野／研究テーマ 居住環境論
都市環境論、特に江戸時代の方位観／
1.持続可能な都市環境整備
2.近現代建築設計資料整備
3.日本の伝統的な居住環境の伝承と再生
- 主要研究業績 『江戸時代の家相説』(雄山閣出版)、
『風水—その環境共生の手法』(環境緑化新聞社)、
『住生活論』(共著、光生館)、
『現代住居コンセプト』(共著、IN AX出版)など。
- プロフィール 建築設計事務所勤務、武蔵野市長期計画策定に参画(都市環境分野)の経験があります。

カリキュラム構成

必修	1年次	● マネジメント通論【2】 ● リスクマネジメント通論【2】 ● マネジメント演習IA【2】 ● マネジメント演習IB【2】
	2年次	● マネジメント演習IIA【2】 ● マネジメント演習IIB【2】
選択		● 人材マネジメント【2】 ● サステイナブルマネジメント【2】 ● 経済予測論【2】 ● キャリアマネジメント【2】 ● グローバルマネジメント【2】 ● マーケティング論【2】 ● 財務マネジメント【2】 ● 戦略経営論【2】 ● 観光経営論【2】 ● 企業ファイナンス【2】 ● 起業論【2】 ● ベンチャーマネジメント【2】 ● ソーシャルビジネス【2】 ● 保健福祉論【2】 ● 都市環境論【2】 ● 文化マネジメント【2】 ● ファッションマネジメント【2】
		*【 】は単位

修了要件

- 大学院に2年(2年以外の標準修業年限を定める研究科、専攻又は学生の履修上の区分にあっては、当該標準修業年限)以上在学し、30単位以上(内訳は下記のとおり)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本大学院の行う修士論文の審査および試験に合格することとする。
- マネジメント専攻修了要件単位数内訳 通論科目4単位、特論科目18単位以上、演習科目8単位修得。

授与学位

- 修士(マネジメント学)

充実した学びの環境

高度な専門知識を備えた
職業人を養成するための施設が
充実しています。

花蹊記念 資料館

The Kakei Memorial Museum
of Atomi University

1995(平成7)年に開学120周年および女子大学創立30周年を記念し、大学の共同教育研究施設として開館しました。



心理教育 相談所

Center for Educational Testing
and Psychological Consulting

2002(平成14)年4月に、地域社会に貢献することを目的として開設。大学院生のための学内実習施設の一端も担っています。



図書館

Library

研究のための学術資料・文献、データベース、新聞、雑誌、小説などあらゆる分野を網羅しています。



院生研究室

Laboratory of Graduate Student

新座キャンパスと文京キャンパスに設けられている、明るく静かな院生研究室。無線LANが完備され、一人ひとりに専用の机が貸与されます。



新座図書館

Niiza Library

百人一首のお宝資料が
一堂に揃っています。

新座図書館の百人一首の資料は日本でも指折りの充実度。3000点以上を有し、全国の研究者や愛好家注目のお宝が揃っています。現在1000点以上のデジタル画像をアーカイブとして公開。年2回、新取資料展も行っています。現代では百人一首かるたが知られていますが、江戸時代には百人一首を題材に寺子屋で和歌の勉強などもされていたようです。

「百人一首かるた」

絵札なし!
歌の文字だけの一本勝負

シンプルに文字だけの札。歌の記憶だけが頼りはかなり高度な勝負になります。萬里小路博房筆(1844年)。



「錦絵 百人一首之内」

百人一首を題材にした
華やかな錦絵

将棋を題材にした錦絵で有名な一勇齋(歌川)國芳の作品。タテ37.5cm×ヨコ25.3cm(1838年)。



「小倉百人一首」

大正時代の
書の名人が競い書き

書家6名の書で表現。江戸時代にかかるたが登場するまで、百人一首は本のスタイルが主流でした(1914年)。



募集要項

詳細は入学試験要項に明記

募集人員

研究科	専攻	入学定員	一般入学試験		社会人入学試験	AO入学試験	外国人留学生入学試験
人文科学研究科	臨床心理学専攻	12名	I期/4名	II期/4名	若干名	—	—
	日本文化専攻	8名	I期/4名	II期/若干名	若干名	若干名	—
マネジメント研究科	マネジメント専攻	10名	I期/3名	II期/3名	若干名	若干名	若干名

選抜方法

研究科	専攻	一般入学試験	社会人入学試験	AO入学試験	外国人留学生入学試験
人文科学研究科	臨床心理学専攻	筆記試験(専門、外国語(英語 ^{*1}))、口述試験	筆記試験(小論文、外国語(英語 ^{*1}))、口述試験	実施しない	実施しない
	日本文化専攻	筆記試験(専門、外国語(英語または日本語 ^{*1&2}))、口述試験	筆記試験(小論文)、口述試験	口述試験、研究計画書、課題レポート	実施しない
マネジメント研究科	マネジメント専攻	筆記試験(専門、外国語(英語または日本語 ^{*1&2}))、口述試験	筆記試験(小論文)、口述試験	口述試験、研究計画書、課題レポート	筆記試験(小論文、日本語)、口述試験 ※試験はすべて日本語で実施

※1 外国語(英語)試験では、英和辞書の持ち込み・参照を可とする(電子辞書は不可)。
※2 外国語は、英語を必須とする。ただし、外国人留学生は、日本語を必須とする。

入試日程

入試の種類	期	エントリー期間	出願面談期間	出願期間[郵送]	試験日・試験場	合格発表
一般入学試験 社会人入学試験	I期	—	—	2025年9月12日(金) ~9月19日(金) ^{*1}	2025年9月28日(日) [文京キャンパス]	2025年10月2日(木) 午前10時
	II期	—	—	2026年1月26日(月) ~2月4日(水) ^{*1}	2026年2月12日(木) [文京キャンパス]	2026年2月14日(土) 午前10時
AO入学試験 (人文科学研究科 臨床心理学専攻を除く)	—	2025年12月8日(月) ~12月19日(金)必着	エントリー終了後 ~2026年1月9日(金)	2026年1月26日(月) ~2月4日(水) ^{*1}	2026年2月12日(木) [文京キャンパス]	2026年2月14日(土) 午前10時
外国人留学生 入学試験 (マネジメント研究科 マネジメント専攻のみ 実施)	I期	—	—	2025年9月12日(金) ~9月19日(金) ^{*1}	2025年9月28日(日) [文京キャンパス]	2025年10月2日(木) 午前10時
	II期	—	—	2026年1月26日(月) ~2月4日(水) ^{*1}	2026年2月12日(木) [文京キャンパス] ^{*2}	2026年2月14日(土) 午前10時

※1 締切日消印有効 ※2 試験当日に海外に在住しているため本学(日本)で入学試験を受験することが困難な場合には、受験者の申請に応じオンラインで受験することを認める。
● 検定料はすべて30,000円。 ● WEBによる合格発表、および合格者に合格通知を送付。

学費(2026年度)

入学金 ^{*1}	200,000円	入学時のみ
授業料 ^{*2}	564,000円	年額
施設設備費	300,000円	年額
初年度納入額	1,064,000円	

※1 跡見学園女子大学を卒業(卒業見込みを含む)した入学者は100,000円。 ※2 2年次は20,000円増となります。
● その他、人文科学研究科臨床心理学専攻は、上記の他に、2年次に実験実習料50,000円がかかります。
● 学費は改定する場合があります。改定された場合は、改定後の学費が適用されます。

奨学金(給付型)

跡見花蹊 記念奨学金	跡見学園後援会より給付される奨学金です。特に学業成績が優秀な大学院生を研究科ごとに表彰し奨学金を給付します。	● 対象 各研究科・各専攻修士2年の前年度学業成績上位者より選考	● 給付金 授業料の 一学期分相当額	● 2024年度給付実績 人文科学研究科2名
跡見校友会一紫会 大学院奨学金	跡見学園女子大学校友会「一紫会」(卒業生の会)より給付される奨学金です。優秀な成績を修めた大学院生を表彰し奨学金を給付します。	● 対象 各研究科・各専攻修士2年の前年度学業成績上位者より選考	● 給付金 授業料の 一学期分の 2分の1相当額	● 2024年度給付実績 人文科学研究科4名
大学院学生 研究奨励金	大学院修士課程に在籍する学生が行う研究のうち、特に重要な研究を奨励するために給付します。	● 対象 修士2年 (前年度の所定期間までに申請する)	● 給付金 5万円	● 2025年度給付実績 人文科学研究科4名